

熱中症の発症リスク判定に関する発明で特許を取得 **～安全見守りサービス「Work Mate」熱中症予兆検知機能にて活用～**

株式会社ユビテック（本社：東京都港区、社長：大内 雅雄、以下「ユビテック」）は、このたび「熱中症発症リスク判定システム、熱中症発症リスク判定プログラム及び熱中症発症リスク判定装置」について特許を取得しましたので、お知らせします。本発明は、作業者の安全見守りサービス「Work Mate」の熱中症予兆検知機能^{※1}に活用しています。

1. 本発明について

ユビテックは「労災事故の早期発見、未然防止」をコンセプトに、安全見守りサービス「Work Mate」の自社開発を進めています。職場の熱中症対策においては、熱中症予兆の早期発見と発見後の経過観察が重要^{※2}であるため、熱中症発症リスクを判定する技術を開発し、特許を取得しました。

特許番号	特許第7687918号
登録日	2025年5月26日
発明の名称	熱中症発症リスク判定システム、熱中症発症リスク判定プログラム及び熱中症発症リスク判定装置
発明の概要	ウェアラブルデバイスから取得した生体情報と、温湿度センサーから取得した情報を組み合わせ、デバイス装着者の熱中症発症リスクを判定する。リスクが高い状態のときにはアラートを発報して休息を促し、休息によって熱中症発症リスクが低くなったと判定された場合には、アラートの停止を行う。
特許権利者	株式会社ユビテック

2. 今後の展開

ユビテックは、今後も作業現場における「Work Mate」のさらなる有効性、機能性向上を目指します。また、「ヒト」にまつわるデータの価値創造を最優先し、AI・データ活用の専門的技術を高め、「危険予知・予防」をコンセプトとしたサービスを展開してまいります。

※1 「Work Mate」は、医療機器ではなく、疾病の診断、治療、予防を目的としておりません。

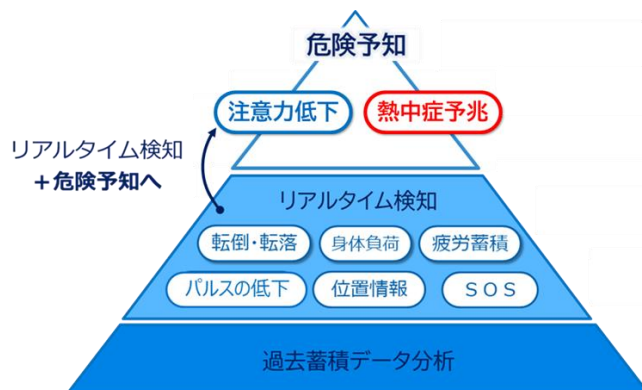
※2 出典：[厚生労働省「職場における熱中症対策の強化について」](#)

以 上

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
株式会社ユビテック 広報マーケティング室 [TEL:03-5447-6732](tel:03-5447-6732)

■「Work Mate」のコンセプト

転倒・転落や各種体調変化のリアルタイム検知に加え、バイタルや活動量データから熱中症予兆や注意力低下などの「危険予知」を行い、労災事故の「未然予防」を目指す



■「Work Mate」の特徴・機能

危険予知：熱中症予兆検知

- ・実証で得たバイタルデータから熱中症の「予兆」を検知するアルゴリズムをユビテックが独自開発
- ・「熱負荷アラート」「熱負荷 警戒アラート」の2段階で発報
- ・日々のバイタルデータの個人特性をAIが学習することで、検知精度が進化し続けていく
- ・回復状態も検知し、現場での適切な休憩および現場復帰を促す



危険予知：注意力低下検知

- ・スマートウォッチから取得したパルスと加速度のデータをリアルタイムで分析し、動作に対してパルスが平常時より低い状態が一定時間継続した場合に「注意力低下状態」と判定する
- ・日々のバイタルデータの個人特性をAIが学習することで、検知精度が進化し続けていく
- ・本人と管理者へアラートを発報し、注意喚起や、行動変容を促す



リアルタイム検知（一部抜粋）

☑停止検知の本人確認画面・通知



停止検知本人確認画面

停止検知 通知画面

☑体調レベルの変化通知



青：正常

黄：注意

赤：異常

「Work Mate」は、医療機器ではなく、疾病の診断、治療、予防を目的としておりません。

(※株式会社ユビテックはオリックスグループです)